



今注目の『みらいチケット』とは？

子ども食堂は給食（平日の昼食）以外でも、子どもたちに「栄養のある食事・温かな団らん」を提供することを目的とした取り組みです。地域によっては、保護者の方や地域の大人たちも利用できます。2010年代にテレビや新聞などのメディアにて取り上げられたことから、日本全国で子ども食堂の取り組みがなされています。身近なところでも行われていることから、目にしたことがある方も多いのではないでしょうか。

子ども食堂を運営するうえで、難しいポイントは資金（食材）の確保と運営スタッフの負担が大きくなることが挙げられています。食事を無料もしくは食材の原価以下の低価格で提供しているため、寄付金による運営や安価または無料での食材の確保が必要となります。また、運営スタッフは基本的に無償ボランティアで、大人数の食事を調理しなければならないため、スタッフの負担が大きく、スタッフの確保が難しいといわれています。

これらの問題点を解決する方法の1つとして注目されているのが、みらいチケットによる方法です。みらいチケットは奈良県にてカレー屋さんを営みつつ、子ども食堂と学習支援を行っている方が考案した方法としてメディア等で取り上げられ、現在では日本各地で行われています。

まず、お店を利用するお客さんがみらいチケットを購入し、お店のボードに購入したチケットを貼ります。そして、訪れた子どもたちがボードに貼られたチケットを取り、お店で出すと無料で食事ができるという仕組みです。

また、お店によってはチケットを購入した人がチケットにメッセージを記入したり、チケットを利用した子どもが、感謝のメッセージを書くスペースがあったりする場所もあるため、交流の輪も広がります。

沖縄県では、200店舗以上のスーパーを含む飲食店がみらいチケットの協力店舗になっているそうです。沖縄発祥であるタコライスを手軽に提供しており、インターネットでもチケットを購入することができます。この取り組みは2024年のグッドデザイン賞に選ばれ、「助成金や個人の善意に頼ることなく、参加、応援の仕方に明快な選択肢があり、誰でも参加できる自走の仕組みが特徴的」と評価されました。

子どもたちのために何かできることはないか、と考えてもハードルが高く諦めざるを得ない方が多いと思います。一人ひとりができることから少しずつ…。子どもたちの笑顔があふれる街が実現するといいなあと思います。

